



常滑市 tokoname city

「中高生に向けた人権講演会の実施」

2025(R7)年 9 月 5 日
常滑市中高生人権教育実行委員会



1 常滑市中高生 人権教育実行委員会活動報告



1(1) 実行委員会について

委員構成

- ・ 常滑市教育長
- ・ 常滑市教育委員会教育部生涯学習スポーツ課長
- ・ 常滑市教育委員会教育部学校教育課指導主事
- ・ 常滑市立各中学校教員
- ・ 愛知県立常滑高等学校教員
- ・ 常滑市市民生活部市民窓口課長
- ・ 常滑市人権擁護委員

開催日程

- ・ 令和6年8月9日(金) 第1回実行委員会開催
内容:事業目的・概要の説明、事業計画の決定、講師の決定
- ・ 令和7年2月14日(金) 第2回実行委員会開催
内容:結果報告・意見交換

1(2) 事業目的



市内中学校・高校にアンケートを実施

◆ 教育現場が抱える人権教育の課題

- ・インターネットにおける人権侵害(SNS含む)についての教育
- ・SNSについて保護者を巻き込んだ安全利用の周知

◆ 実施を希望する人権教育

- ・保護者、生徒に向けたSNSにおける人権侵害に関する講話
- ・実体験や身近な事例に基づく講話



インターネットにおける人権意識の向上を目的とした
講演会を実施



1(3) 活動内容について

◆ 市内中学校・高等学校にて講演会の実施

実施学校名	講演会	参加者	実施時間
愛知県立常滑高等学校	「人権講話～安全・安心な学校生活のために～」 講師 愛知県人権相談員・松山義光さん	生徒1、2、3年生 (670名)	50分間
常滑市立鬼崎中学校	「これって自分のこと？」 インターネット人権侵害について」 講師 弁護士・北川喜郎さん *南陵中学区では、グループワークも実施しました	生徒1、2、3年生 (592名)	45分間
常滑市立常滑中学校		生徒1、2、3年生、 保護者 (810名)	70分間
常滑市立青海中学校		生徒1、2、3年生、 保護者 (219名)	75分間
常滑市立南陵中学校		生徒2年生、保護者 (74名)	110分間



いじめの媒体の違いから学ぶ人権侵害

インターネットの世界

- ・相手や周囲の反応が見えづらい
- ・誰が言ったのかわかりづらい
- ・周囲の人が気づきにくい
- ・いじめから物理的に離れにくい、拡散しやすい

リアルの世界

- ・相手や周囲の反応が見えやすい
- ・誰が言ったのかわかりやすい
- ・周囲の人が気づきやすい
- ・いじめから物理的に距離がとれる



いじめが広がりやすく、透明化しやすい ▶ いじめの深刻化に繋がる

☑ いじめの態様別状況

「パソコンや携帯電話等で誹謗・中傷や嫌なことをされる」が年々増加傾向

- ・・・高校では「冷やかし・からかい・悪口・脅し文句」に次いで2番目に多い
- ・・・中学校でも増えてきている



常滑高等学校での講演

人権講話～安全・安心な学校生活のために～
愛知県人権相談員・松山義光さん

「人権侵害」… 身近で起きている

◎ 信頼できる人に相談をすること

【インターネット上の人権侵害】… 匿名の危険性

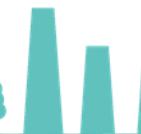
- ・インターネット上のいじめ、リベンジポルノ等の犯罪行為
- ・迷惑行為の投稿 < 開示請求で投稿者は特定できる



「軽い気持ち」で 犯罪行為 に繋がる

【他者の人権を守るために】

- ・多様性を理解する
- ・どのような言動が人権侵害に繋がるのか、考え、想像し、知識を深める
- ・他者の人権を守ることが自分の人権を守る



市内4中学校での講演

「これって自分のこと？」
インターネット人権侵害について」
弁護士・北川喜郎さん

インターネットの世界の いじめ

匿名性の高さ・透明性の
低さから深刻化しやすい

いじめの四層構造

いじめられる人・いじめる人・
はやし立てる人・見ている人
… 全員が解決する力を持っている

ネガティブが溜まる 心のコップ

自分や友達のコップに溜
まった水を減らす方法を
考える

人権 = 誰もが持っている幸せに生きる権利

◎ 相手に欠点・問題があれば「いじめられても仕方がない」のか
…実際に起こったいじめの事例を紹介しつつ、人権侵害について考える講演

◆ 常滑中学校、青海中学校、南陵中学校

生徒が学んだことや考えたこと、疑問に思ったことを発表し周囲と共有

◆ 南陵中学校

いじめの四層構造について、それぞれの立場の人がいじめを止めるために
何ができるか話し合うグループワークの実施

南陵中学校での グループワーク

◆いじめの四層構造

➡ それぞれの立場の人が、いじめを止めるために何ができるか
グループで10分間話し合い、報告者が発表

いじめられる人

- ・いじめの理由を聞きやめてもらう
- ・信頼できる人に相談する ・やめてほしいという
- ・直接言うといじめられるから周りに相談する
- ・なんでもできるようにする ・意見を言う ・逃げる

いじめる人

- ・過ちに気づいてやめる ・やらない
- ・相手の気持ちと、自分がなぜいじめるか考える
- ・周りの人から意見聞く ・北川先生の講演を聞く
- ・何が気に食わないか考える ・人にあたらない
- ・いじめ以外の楽しみを探す ・しない方法を考える

見ている人

- ・勇気を出して止める、学校の先生や親に言う
- ・周りの人に相談する ・見ているだけはダメ
- ・いじめられる人の味方になる、寄り添う
- ・第三者に相談する ・影響力のある人に言う
- ・仲介役になって大人を呼ぶ
- ・ターゲットになるから無理をしないで仲間を探す
- ・いじめが起きない環境を作る

はやし立てる人

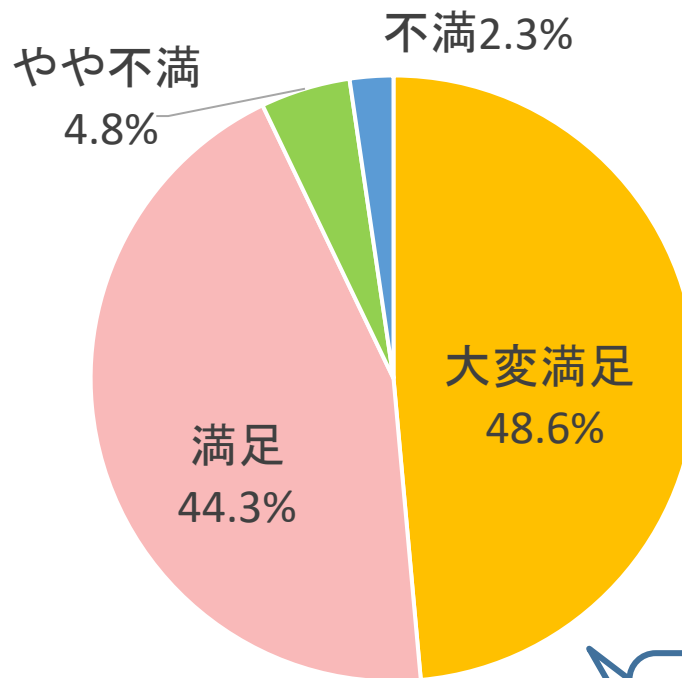
- ・止める ・いじめる人を注意する ・自信をもつ
- ・いじめる人と話し合う ・はやし立てない
- ・いじめ以外で解決を考える ・なぜいじめるか聞く
- ・加担しない ・見ている人と先生に相談に行く
- ・無責任にならない ・エスカレートさせない

1(4) 人権講演会アンケート結果

人権講演会アンケート結果

- ・講演会終了後に電子アンケートを実施

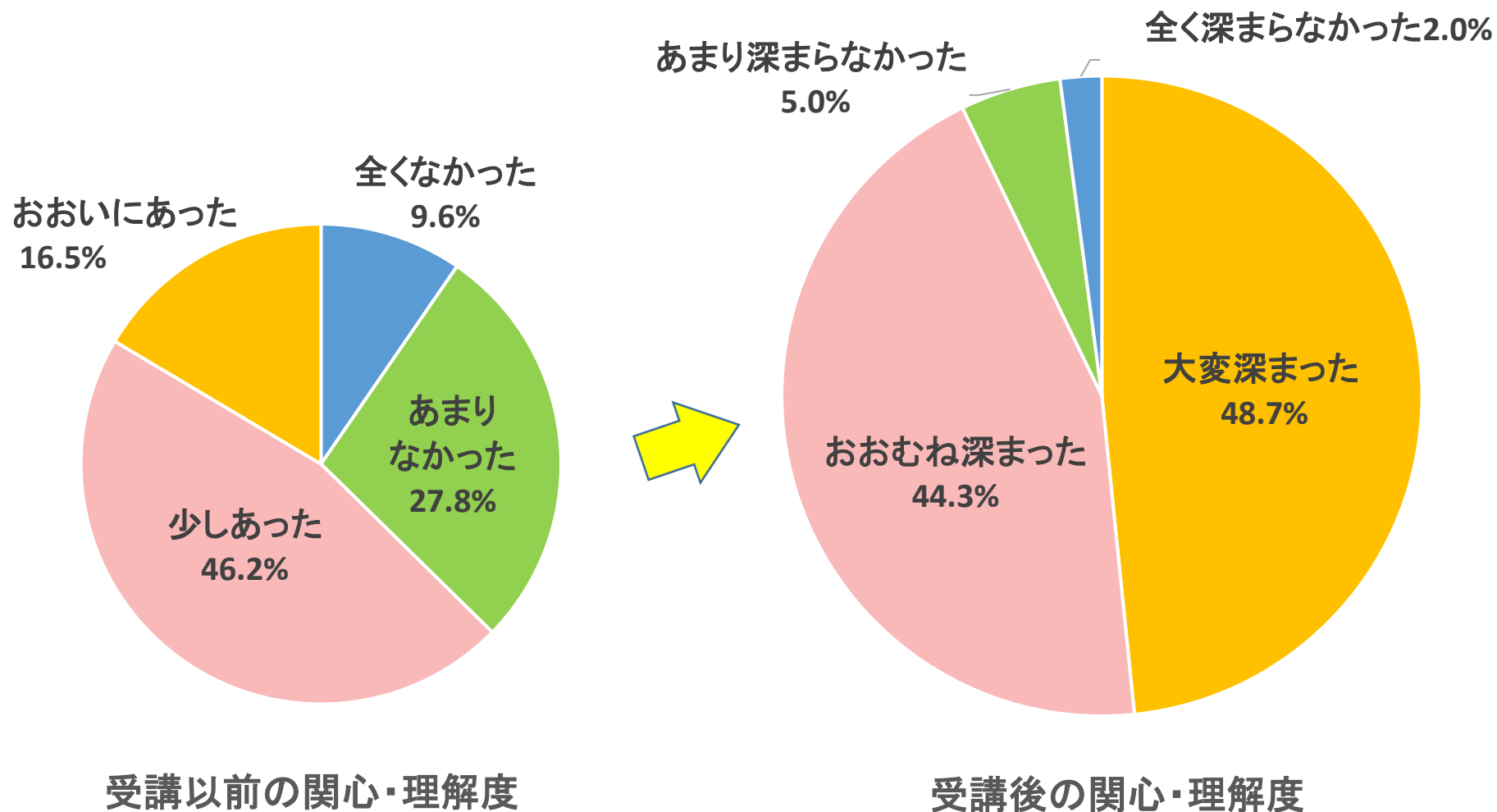
回答総数：1,981件 回答率：83.5%（アンケート対象者 2,372件）



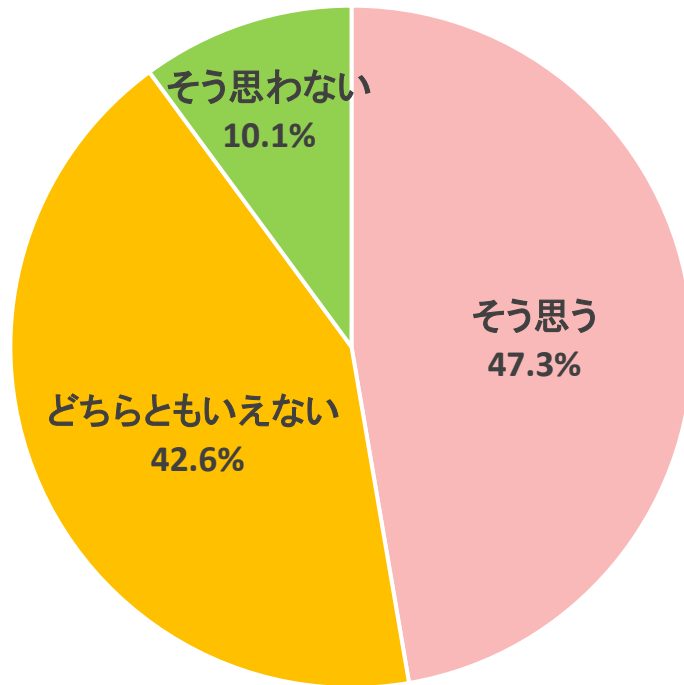
講演会の満足度

グループワークを実施した南陵中学校では、「大変満足」の割合が他校よりも高かった

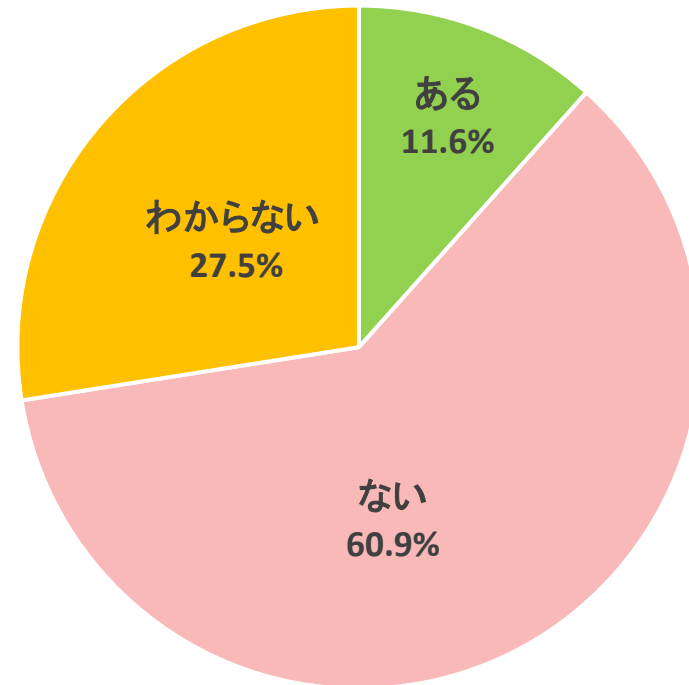
人権講演会アンケート結果



人権講演会アンケート結果



インターネットにおける人権が
尊重されているか

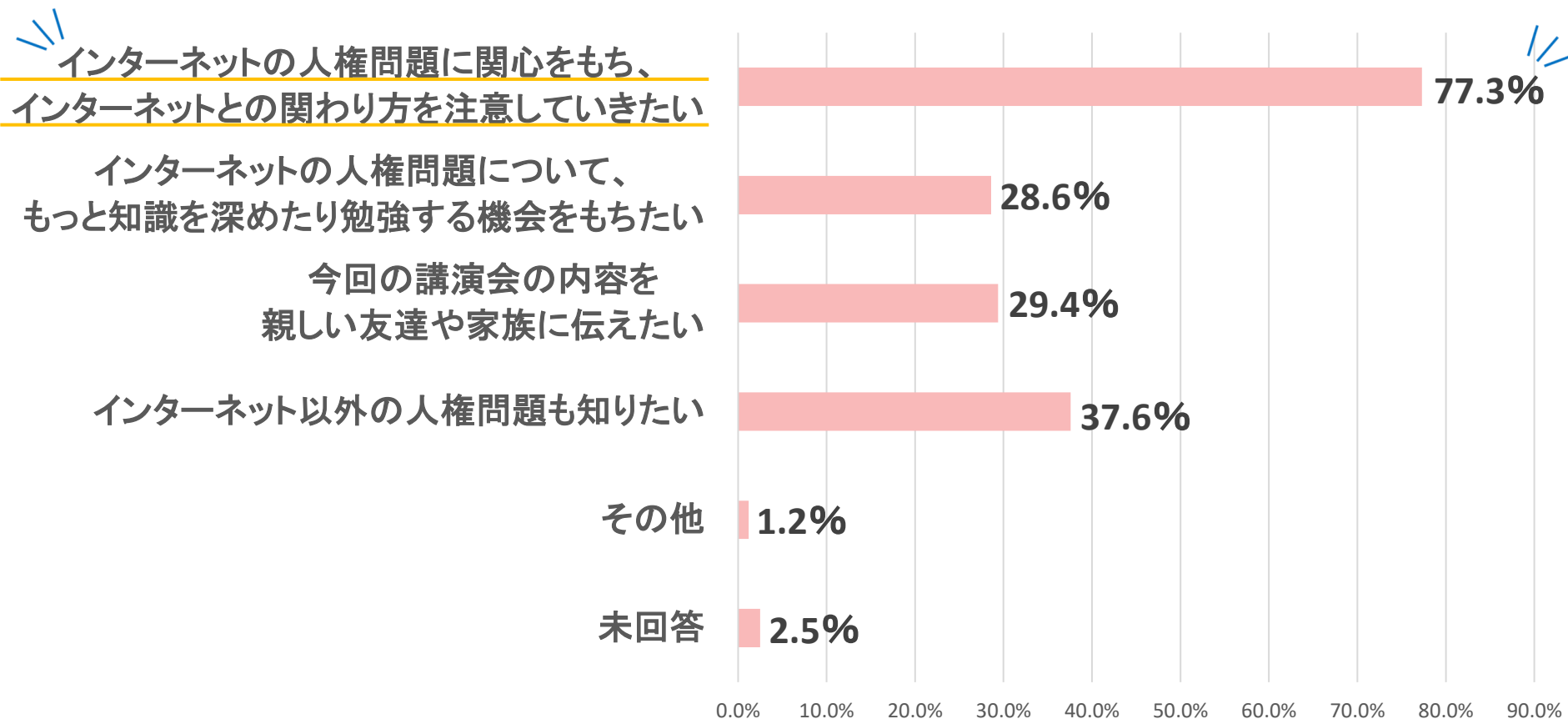


インターネットにおける人権を
侵害されたことがあるか



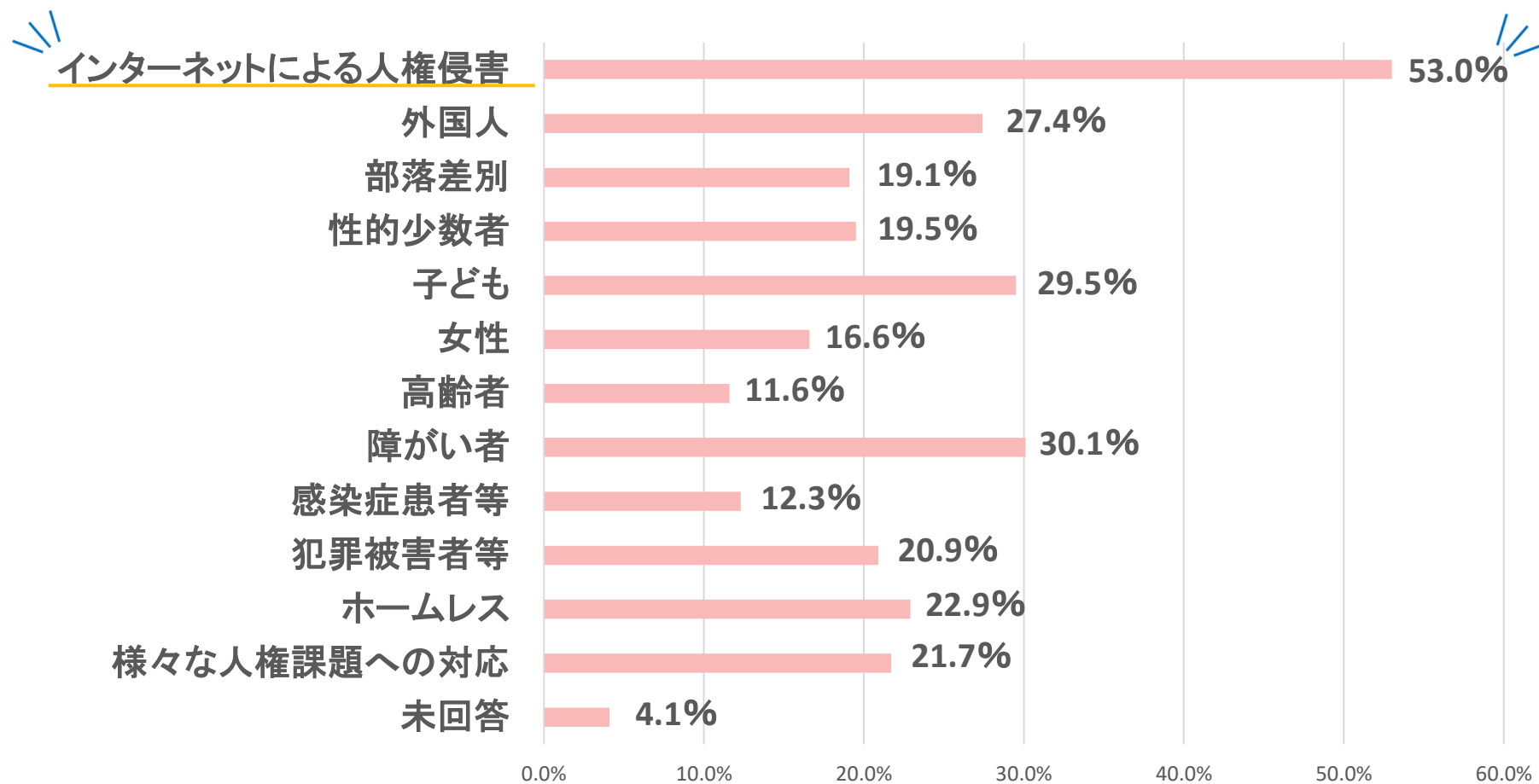
人権講演会アンケート結果

受講後の行動について



人権講演会アンケート結果

関心のある人権問題



生徒からのアンケート意見抜粋

実際に起きたいじめを聞いて、いじめを
すると本当に人を死に追いやってしまう
ことを改めて深く実感した。

ネットをよく使うので、他人の人権を
侵害しないように気を付けたいと思った。
ネットを使うときに気を付けて正しい
使い方でこれからも使えるようにしたい。

人権は「幸せに生きる権利」ということを知った。

ネットの悪口は、言われた人の姿や気持ち、
どういう表情なのかよくわからないので、
ネットの使い方を気をつけようと思いました。

ラインやインターネットで悪口などを
言っている人がいたら止めようと思いました。

いじめを受けた人が相談できる場所を説明してくれて
良かった。安心できた人は多いと思う。

インターネットでこれを書いたら人が
傷ついてしまうのかを考えながら、
書くようにしたいと思います。

保護者からのアンケート意見抜粋

いじめで亡くなった男の子の話、親として、命あつてのことなので、まず子供の命について、大切な命だということ、逃げていいということ、味方になって全力で守るということ、大事な命なんだよということを伝えていきたいと思いました。

実際にあったいじめの話が、印象に残りました。
いじめについて、子ども達にも分かりやすく心に響いたと思います。

とても心に響く内容でした。



2 成果と今後の課題について



3(1)成果

◆ 関心・理解度について

受講以前は、関心・理解がなかった人が4割もいたが、受講後には9割程度の人に関心・理解が深まったという回答になった。このことから、インターネットによる人権侵害の傾向が高い高校生、自我の確立や発達段階に大きな変化のある中学生に向けた講演会の開催は効果的だったといえる。

◆ 南陵中学校のグループワークについて

生徒たちからは柔軟な意見が多く出ており、**それぞれの立場に立って考えることができる時間となった**。先生方や子供たちからの評価も高く、**人権意識を自分事として高められたため、考えたことや感じたことを発言し共有すること、意見を聞くことで効率よく学ぶことができる**と感じた。



3(1)成果

◆アンケートの結果について

- ・インターネットにおける人権が尊重されていないと思う人 : 1割程度
- ・インターネットにおける人権を侵害されたことがある人 : 1割程度

このことから、**現状常滑市の中高生の約200人がインターネットにおける人権を尊重されていない、インターネットにおける人権を侵害されたことがある**ということであり、決して少なくない結果であった。

自由意見として、「もっと詳細に人権侵害について知りたい」という声が多く、講演会を通して、人権に対する学習意欲の向上に繋がる結果となった。



3(2) 今後の課題



定期的に学ぶ機会がなければ効果が薄れてしまう。



人権意識が損なわれないよう、
引き続き人権に触れる機会が必要！

・・・教育機関との連携が重要
(連携例) 講演会講師の派遣・紹介
啓発資料を保護者へ配布
教員への人権教育 等

「人権問題は他人事ではなく、身近なもの」
自分事として考えられるような人権教育を続けていきたい

